

←350 JAPAN

COP28に向けた日本の課題: G7広島サミットを踏まえて

伊与田昌慶(国際環境NGO 350.org Japan)

2023年7月14日(金)14:30~16:00

CAN-Japan主催「SB58報告会」



G7に「脱化石」を求める世界21カ国・50もの市民アクション



化石ガス容認のG7 & 「石炭中毒」で孤立する日本



G7広島サミット首脳コミュニケの意味①

- 気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の「2019年比で世界の温室効果ガス排出量を2030年までに43%削減、2035年までに60%削減」の緊急性
 - ただし、IPCCが示す「世界全体の排出削減」以上に排出削減に取り組む G7の意思の欠如
- 化石燃料フェーズアウト、石炭火力発電の新設の停止
- 風力と太陽光の数値目標
- 火力発電へのアンモニア・水素混焼、原子力、CCUSといったグリーンウォッシュ・まやかしの解決策に言及
 - ただし、アンモニア混焼発電についてはG7全体として推進する内容ではない。
- 「公正なエネルギー移行パートナーシップ(JETP)」の歓迎
 - JETPは、途上国の石炭火力発電の廃止を先進国が支援してサポートするもの。

G7広島サミット首脳コミュニケの意味②

- **石炭火力発電フェーズアウトの期限(2030年)の明記なし**
 - 他のG7諸国が求めるも、日本が抵抗し、盛り込まれず(※ただし、「1.5°Cに整合」とした時点で、2030年脱石炭は事実上要請されているとみるべき)
- **2035年までの電力部門の『完全な又は大部分の』脱炭素化**
 - 他のG7諸国が「完全な」とするよう求めるも日本が抵抗し「大部分の」が残る
- **ロシアのウクライナ侵攻を踏まえ化石ガスへの公的支援を一時的に容認**
 - G7サミット直前にアフリカを訪問した岸田総理、モザンビークのガス事業への支援を約束G7サミット議長国としての「脱化石」の政治リーダーシップの意思なし
- **途上国支援の気候資金への支援を積み増す意思の欠如(損失と被害を含む)**
 - 日本がエジプトの空港拡張、バングラデシュの石炭火力発電といった事業を「気候資金」として計上していたと報じられ、国際的に強い批判にさらされる(ロイター報道)

G7合意はパリ協定1.5°C目標に向けて不十分な結果だが、それですら日本の気候エネルギー政策よりも先をいく。COP28に向けて日本は転換を迫られている

A REUTERS SPECIAL REPORT

Rich nations say they're spending billions to fight climate change. Some money is going to strange places.

G7からCOP28ドバイ会議に向けて

1. 気候・エネルギー政策の方向性を見直し

- a. 「決定的に重要な10年」に間に合わない「誤った解決策 (False Solution) 」ではなく、省エネ徹底と100%再エネへの公正な移行の戦略が必要
- b. 化石燃料中毒を「誤った対策」で糊塗した「GX方針」と、今後のエネルギー基本計画・地球温暖化対策計画・国別貢献 (NDC) の政策プロセスをどう調整するのか？
- c. 2030年NDCの強化の検討と並行して、2035年 (※) までのNDCの検討を急ぐ必要がある

2. 「誠実さ」を伴った気候資金への貢献の積み増しを

- a. かねてより「日本は気候資金への貢献金額が大きい」とアピールしてきたが、石炭火力発電事業への支援など、むしろ排出を増やす資金をも計上していたことが大問題に

3. 気候ミスインフォメーション

- a. 脱化石の国際合意が進展するたびに独自解釈を国内で流布させて「変わらなくてもよい」との誤解を国内ビジネスに与え続け、その戦略的転換の機会を奪うのは罪深い

COP28ドバイ会議に向けて、 日本の市民・企業に何ができるか

- 政府や一部産業界のミスインフォメーションに惑わされないこと
- 日本の市民・企業・自治体(+誰でも)が、原発も気候危機もない社会のため、連帯をして声をあげることが重要
 - 石炭火力発電所「GENESIS松島」の環境アセスメントが今秋に行われる可能性がある →時代錯誤の石炭ビジネスに **NO!**の声をあげる
 - フェアでサステナブルな省エネルギーや再生可能エネルギーには **YES!**の声をあげる
 - GX方針に関する説明会・意見交換会が全国各地で開催される →原発・化石依存の方向性に抗議する
 - 気候危機に取り組むNGOやユースグループのボランティアになる・寄付をする・会員になる ,etc

ワタシのミライ

NO NUKES & NO FOSSIL

- 再エネ100%と公正な社会を目指す市民団体、ユースグループ、反原発市民運動のコラボレーション企画
- 9月18日(月・祝)、東京・代々木公園を含む全国各地でのイベント「ワタシのミライ」への賛同・参加・拡散
 - https://watashinomirai.org/20230918_nnnf/

ワタシのミライ

NO NUKES & NO FOSSIL

再エネ100%と公正な社会を目指して

2023年

9月18日 月祝

集会 & パレード

時間：11:00 - 16:00

場所：代々木公園B地区・野外ステージ・けやき並木

主催：ワタシのミライ

Fridays For Future Tokyo

さようなら原発1000万人アクション



お問い合わせ

伊与田昌慶(いよだまさよし)

国際環境NGO 350.org Japan
ジャパン・キャンペーナー

masayoshi.iyoda@350.org

Twitter: <https://twitter.com/masaiyoda>